

平成 29 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録

日 時：平成 29 年 10 月 28 日（土） 15:00～17:15

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館 210 号室（土木工学専攻大会議室）

出席者：今枝(東京支部長・代理中島), 浜嶋(関西支部長・代理輪崎), 酒井(名簿・ウェブサーバ担当), 趙(留学生担当), 池田(1期), 高瀬(2期), 南川(3期・代理竹内) 大澤(4期・代理白木), 遠山(5期), 谷(6期), 寺島(8期), 伊藤(11期・会長), 田中(13期・会計監事), 向井(15期), 大東(16期), 水谷(19期), 伊東(20期), 後藤(21期), 加藤(22期), 中村(23期), 中野(24期), 萩野(30期), 石川(31期), 香川(33期), 三輪(34期), 田代(35期・幹事長), 判治(37期・名簿), 山本(38期・会計), 二井内(41期), 赤根(43期), 石黒(学生会会长), 鈴木(52期), 根橋(53期), 大橋(4年幹事) 出席者数 34 名

■役員会に先立ち, 7 月 26 日に逝去された水野一男氏（1期・前幹事・元会長）を偲んで黙祷が捧げられた。引き続いて、会長・幹事長からの挨拶および幹事自己紹介（資料 29-2-0）があった。

報 告

1. 総会報告（資料 29-2-2） (田代)
 - 7 月 7 日実施の第 27 回総会について, 89 名が参加して開催された旨, 紹介があった.
2. 会計報告（資料 29-2-3,4） (山本)
 - 総会講演会補助・学生支援・支部補助などの説明があった.
 - 会合費として計上した予算 150,000 円に対し, 第一回役員会の懇親会費で 175,000 円の支出があった旨, 説明された.
 - 今後は, 名簿や会誌「しゃち」の印刷費用を支出する予定がある.
 - 例年と同程度の支出となっている.
 - 今年度は 4 期がプレミアム会員となる予定.
 - 全体の会費納入率は 48.3%（前年 49.7%）である.
 - 学生時代の幹事がしっかりとメールアドレス等の把握をすべきとの意見があった.
3. 後援基金報告（資料 29-2-5） (加藤・代理三輪)
 - 平成 28 年度（本来は前回に報告）と今年度上半期の会計報告がなされた.
 - ここ数年, 機能していなかった旨, 指摘があり, 今後, 新体制のもと, 改善を図っていくこととなった.
4. 支部活動報告
 - 1) 東京支部（資料 29-2-6） (今枝・代理中島)

- ・ 東京支部の幹事について、大手ゼネコン各社による輪番制で対応している旨、説明があつた。幅広い世代（特に若手）が参加するように対策を検討中とのことであった。
- ・ 4月 10 日に開催された幹事会・役員会において、大林組から鹿島建設へ幹事会社の引継がなされた他、役員会の開催状況について報告があつた。
- ・ 例年、主婦会館（四ッ谷）で実施している支部総会について、11月 17 日に予定している旨、式次第とともに紹介があつた。教室から、伊藤名誉・客員教授（会長）、中村光教授、田代特任教授（幹事長）が参加する見込み（追記：114名が参加し盛況）。

2) 関西支部（資料 29-2-7） （浜嶋・代理輪崎）

- ・ 平成 29 年度前期の活動計画が説明された。
- ・ 関西支部バリバリ会（若手懇親会）、関西支部大会、関西銀シャチ会等の報告があつた。関西支部大会については、教室から、伊藤名誉・客員教授（会長）、中村友昭准教授、田代特任教授（幹事長）が参加し、例年より多い 23 名が参加し盛況であったとの報告があつた。

5. 教室近況報告（資料 29-2-8） （館石・代理田代）

- ・ 今年度から工学部が改組となり、環境土木工学コースから環境土木工学プログラムに、社会基盤工学専攻から土木工学専攻に変更があつた旨、紹介があつた。それぞれの英語名称（学部：Civil Engineering、院：Civil and Environmental Engineering）についても紹介があつた。
- ・ 7月から卒業生でもある柿元祐史氏（47期）が、環境学研究科持続的共発展教育研究センターの助教として着任した旨、紹介があつた。柿元先生は「しゃち」の編集も新たに担当される。

6. 学生会活動報告（資料 29-2-9） （石黒）

- ・ 平成 29 年度前期の活動として、名大祭土木展、研究室対抗ソフトボール大会についての報告があつた。土木展においてコンクリート人形作成などを実施しており、子供たちに人気を博している。
- ・ 平成 29 年度前期の会計報告がなされ、併せて同後期における予算使途が紹介された。
- ・ 後期の活動として、土木運動会は 11 月 18 日、卒業記念パーティー（謝恩会）は 3 月 26 日に開催する予定であり、土木懇親会は 11 月中に実施する方向で調整中（追記：12 月 21 日に実施）である。
- ・ 卒業アルバムについては、今年も行う予定である。

7. 留学生関連活動報告（資料 29-2-10） （趙）

- ・ 平成 28 年度発刊の「しゃち」57号の内容に基づき、Alumni Newsletter Issue No.6 を作成中である旨、紹介があつた（11月にメール配信予定）。また会計の報告がなされた。
- ・ Tea Chat Party（6月 21 日）、Farewell Party（9月 26 日）の活動・会計報告があり、日本人学生の謝恩会と同様な写真を用いてのスライドショーを実施し好評であった。

8. 女子の会活動報告 (井料・代理田代)
 - (幹事教員の長期休暇、交代などの理由により,) 今年度上半期は女子会としての活動が行えなかつたが、下半期に OG 等を呼び、会を実施する方針が紹介された.
9. 特定基金の創設についての説明 (資料 29-2-11) (田代)
 - 特定基金「工学部・工学研究科支援基金 : NUDF-e」について、学生に対する経済的支援、若手研究者に対する研究助成などへの運用が可能になった旨、紹介があった。就学基金の場合、税額控除面で従来の基金「名古屋大学基金」より優遇されることになる。
 - 工学部 HP、鏡ヶ池会 HP にも情報が記載されている。
10. その他
 - 同期会の報告について (田代)
 - 3 期が 50 年会を開催したとの報告があつた。しゃちに投稿。
 - 8 期が 45 年会を開催したとの報告があつた。しゃちに投稿。
 - 13 期が 40 年会を開催したとの報告があつた。しゃちに投稿。
 - 23 期が 30 年会を予定している旨、紹介があつた。
 - 同窓会室移転について (田代)
 - 教室における配置変更のため、工学部 8 号館 209 室から同 108 室へ移転となつた旨、紹介があつた（電話番号等の変更は無し）。
 - 全学同窓会・ホームカミングデイについて (田代)
 - 10 月 21 日に開催され、予算縮小されつつも盛況であった旨、紹介があつた。

議 事

1. 役員・幹事の変更 (資料 29-2-0) (田代)
 - 水野氏ご逝去に伴い、1 期幹事については池田氏に交代となつた旨、紹介があつた。
 - 役員会への出席率が低い幹事の所属する期には幹事を変更するよう伝える旨が説明された。
2. 平成 29 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録（案）(資料 29-2-1) (田代)
 - 議事録（案）が承認された。
3. 鏡ヶ池会名簿 No.53 編集経過報告と今後の予定 (資料 29-2-12) (判治)
 - 昨日（10 月 27 日）までの修正内容は名簿に反映する。
 - 11 月上旬には最終原稿を作成し、12 月上旬には納品・発送する予定。
 - 名簿の更新に関しては必ず幹事でまとめて報告してほしいと伝えられた。
 - 更新に際しての不手際の詫びの言葉があつた。
 - 前年度までに検討していた web 上での名簿更新については、個人情報セキュリティ管理の面で懸案事項が解消されないため、いったん中止とするが、データ管理、サービス、

費用対効果の面で名簿のデータ化については考慮すべきことが多いため、引き続き、編集作業の一部外注を含めて検討していくこととなった。

- 幹事が自身の期の名簿を責任をもって管理するのが原則との意見があった。

4. 「しゃち」 No.58 編集方針 (資料 29-2-13) (山田・代理田代)

- 総会で報告された内容との相違点 (コンクリート研究室フォーラム、女子の会未記載) が説明された
- 銀シャチと連携して製作していく旨が伝えられた。

5. 卒業生、教室・学生支援について (資料 29-2-14) (田代)

- 若年層の活動支援として、「同期会開催（年1回限り）に際して出席人数×1,000円を補助する事業」、ならびに、「各期の最初の周年事業実施の際に10万円を補助する事業」について執行部から提案があり、承認された（追記：11月下旬より役員会 ML, HP, Facebook で周知開始）。
- 転職を希望する卒業生支援方策として、会誌「しゃち」、HP に求人広告を掲載できるようとする旨、執行部から提案があり、承認された。
- 海外在住会員向けのサービス向上のため、ニュースレター配信の際に連絡先調査を行い、改めて名簿、「しゃち」の希望がある場合には通常の配布時期以外にも対応することとなった。
- 教室・学生支援については、多項目にわたって細分化しているため、教室、学生会、基金等でまとめて報告いただくことになった。その他の支援策についても教室などからの要請に応じる準備をしている旨、紹介があった。
- 若年層への補助に関して、同機会開催時の補助は東京と名古屋で1年に2回開催する際にはどちらを補助の対象とするのか等、情報共有を行ったほうがいいとの声があった。
- 会費納入の件について、同期会実施時のみならず、総会開催時に行うほうが、集金率が高いとの意見があった。なお、総会に関しては教員の方の出席率が低いため、努力すべきとの提言があった。

6. 会員名簿の冊子体販売について (資料 29-2-15) (田代)

- 現在、CD で発刊している名簿について、希望者には期間限定・有償で配布する方針が提案され、承認された。売れ残った余剰分は同窓会で抱える必要があることなどから、協議の結果、本年度は無償配布分（約 20 部）を含め 50 部準備し 1 部 3,000 円で周知することとなった（追記：送料込 3400 円で名簿郵送時に案内済み）。なお、無償配布は名誉教授、教室主任・主任補佐、事務室とする。

7. その他

- 次年度総会は、幹事の愛知県と協議し、名大内開催する方向で調整することとなった。

以上